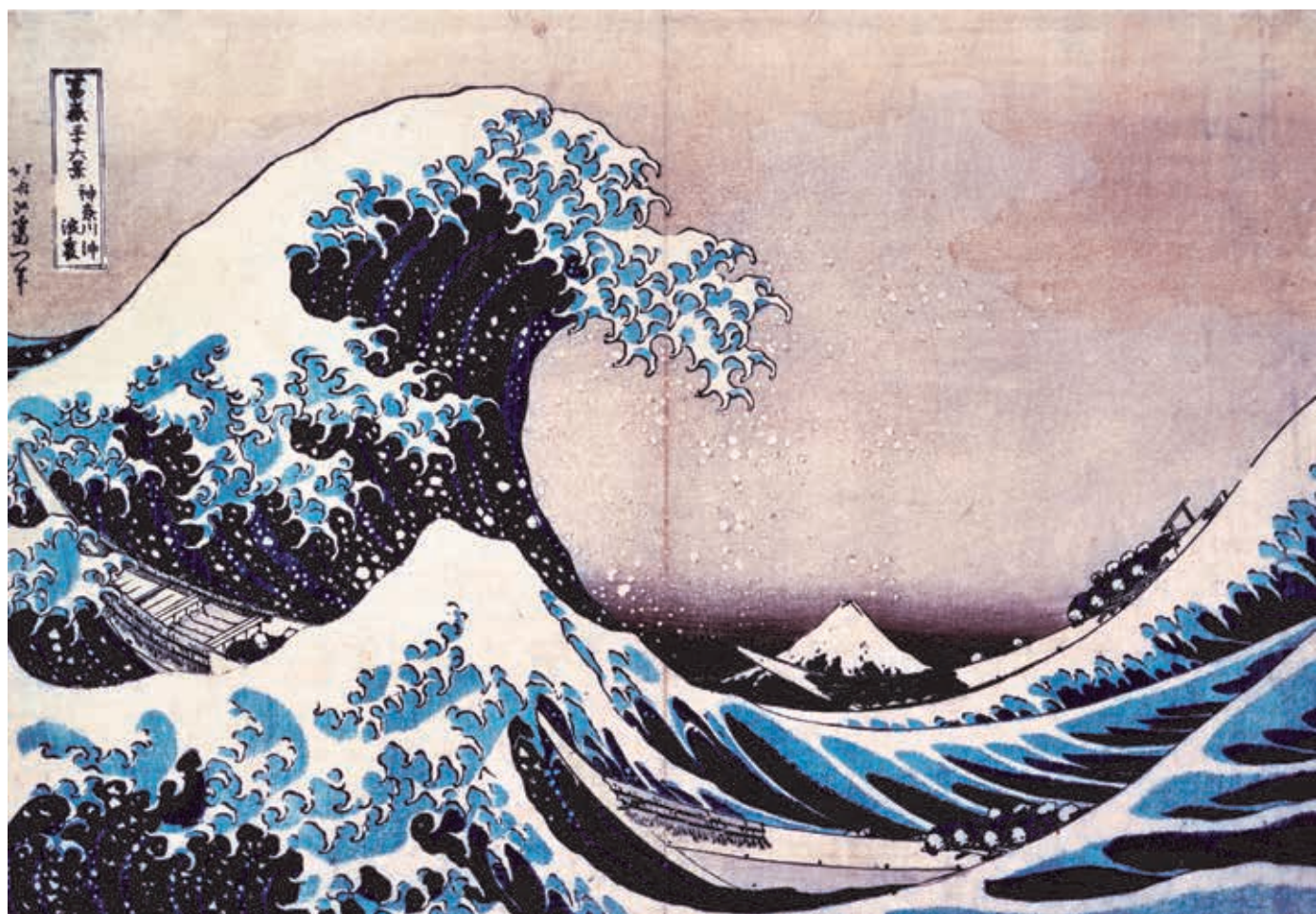


はままつ 市議会だより

第195号

令和5年5月5日

身近な市議会を目指して



もくじ contents

◎ 2月定例会のあらまし	P2
◎ 可決した主な議案	P3
◎ 行政区再編に関する協議の経過	P3
◎ 常任委員会の状況	P4
◎ 代表質問	P6
◎ 一般質問	P7
◎ 特別委員会の活動状況	P9

葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》
錦絵大判 天保2年(1831)頃

～浜松市美術館「北斎展－師と弟子たち－」より～

市議会の詳しい情報は
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索



2月定例会

5年度予算 総額約7086億円を可決

行政区を再編する条例などを可決

2月定例会を、2月15日から3月17日までの31日間にわたって開催しました。

◎行政区再編関連条例などを可決

2月22日の本会議では、15日に上程し、各委員会で審査した4年度関係議案33件について、3議員から区及び区協議会の設置等に関する条例の一部改正などの議案に対する反対討論がありましたが、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。



5年度施政方針を表明する鈴木市長

◎市長が施政方針を表明

同日の本会議では、5年度関係議案の上程に当たって市長から施政方針の表明がありました。その中で、5年度の重点化テーマを「未来へつなぐ持続可能な社会への挑戦」とし、サステナブルな財政運営に基づいたメリハリの効いた予算案を編成したと述べ、次の市長に、これまで築き上げた強固な財政基盤と、フロントランナーとして他の地方自治体をリードしていくという気概を、確かに引継ぎ『未来へ輝く創造都市・浜松』を築いていくと締めくくりました。

◎代表・一般質問に9議員

3月6日の本会議では4会派が代表質問を、7日の本会議では5人の議員が一般質問を行い、市政の諸課題について市の考えをたどしました。

◎5年度関係議案を可決

3月17日の本会議では、追加上程した議案を含めた38議案について、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、1議員から5年度一般会計予算など7議案に対する反対討論、1議員から5年度一般会計予算に対する賛成討論があり、採決した結果、いずれも原案のとおり可決または決定しました。また、人事案件1件に同意したほか、議会提出議案として人事案件2件、発議案2件、意見書2件を可決または決定しました。

可決した意見書

意見書とは、国や県等が実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆国営かんがい排水事業(更新事業)の同意徴集手続簡素化を求める意見書
- ◆帯状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書

議会活動の経過

〔3月〕							〔2月〕						
17日	16日	15日	9日	8日	7日	6日	3日	22日	21日	16日	15日	7日	
本会議(5年度関係議案採決・2月定例会閉会)	調査特別委員会	大型公共施設建設調査特別委員会	議会運営委員会	各常任委員会	各常任委員会	各常任委員会	議会運営委員会	本会議(4年度関係議案採決・5年度関係議案上程・施政方針)	本会議(4年度関係議案採決)	議会運営委員会	各常任委員会	議会運営委員会	調査特別委員会
											本会議(2月定例会閉会・4年度関係議案上程)	本会議(2月定例会閉会)	調査特別委員会
													議会運営委員会
													大型公共施設建設調査特別委員会

可決した主な議案

5年度一般会計予算 総額3895億円

- ◆6年4月稼働を目指した新清掃工場及び新破砕処理センターの整備 309億1596万円
- ◆道路・河川の老朽化対策、近年頻発化する自然災害への対策や道路ネットワークの整備 217億2341万円
- ◆高校生世代までの子どもの通院費500円/回、入院費と0歳児の通院費を無料とする医療費助成を県補助終了後も継続実施 31億87万円
- ◆大河ドラマ館の展示リニューアルをはじめ誘客イベントやプロモーション活動の実施 10億17万円



どうする家康 浜松 大河ドラマ館



天竜区青谷に建設中の新清掃工場(5年2月末現在)

- ◆システム改修や庁舎等整備経費など行政区再編準備の実施 5億4592万円
- ◆保育士の負担軽減のため私立保育所などで保育補助者を新たに雇用するための費用補助 5億6037万円
- ◆遠州灘海浜公園篠原地区近接地への道の駅設置推進にかかる調査・検討 1500万円
- ◆AIと車載カメラにより道路損傷箇所を自動検出するシステムの試験導入 1143万円など

行政区再編に関する協議の経過

協議の経過はこちらから

区制度協議の経過

検索



行政区の再編については、行財政改革・大都市制度調査特別委員会において協議を進めてきました。5年1月27日の協議では、条例改正の骨子に対する区協議会からの答申内容の報告を受けました。また、2月15日には条例改正に係る議案審査を行った結果、賛成多数により可決すべきものと決定するとともに、委員会として附帯決議を付すこととなりました。

【附帯決議の要旨】

今回の区割りによって平成17年の合併前の旧浜松市と合併市町村という色合いが濃くなることが懸念される。そこにしこりが残らないよう、合併市町村の発展や融和などの施策の推進に特に配慮すること。

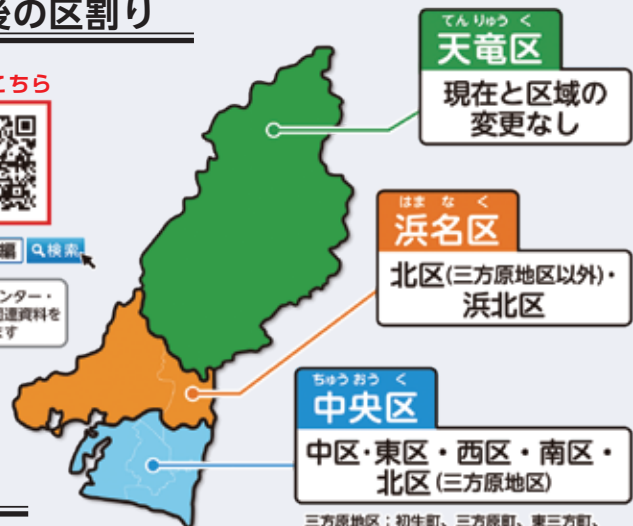
再編後の区割り

詳細はこちら



市HP▶ 区再編 🔍 検索

区役所・協働センター・図書館などでも関連資料を閲覧できます



てんりゅうく

天竜区

現在と区域の変更なし

はまなく

浜名区

北区(三方原地区以外)・浜北区

ちゅうおうく

中央区

中区・東区・西区・南区・北区(三方原地区)

三方原地区：初生町、三方原町、東三方町、豊岡町、三幸町、大原町、板洗町

令和6年1月1日から

3区に変更となります

常任委員会の状況

3月8日、9日に開催した各委員会での審査の概要です

総務委員会

建設消防委員会

●政策トライアル推進事業について

質疑 ボトムアップの提案により、試行的事業や基礎調査を実施できるようにしていくとのことだが、どの程度の提案数を見込んで予算を計上したのか。

答弁 明確な件数の見込みはないものの、1件当たり100万円から200万円ほどの事業を実施していく想定で、1000万円の予算を計上したものである。

質疑 財政的な問題で事業の本格実施が困難になると、提案した職員のモチベーションに多大な影響があると思われるため、配慮が必要ではないか。

答弁 本格的な事業化に当たっては、スムーズに

ズに予算措置ができるよう、企画調整部と財務部がしっかりと連携して取り組んでいく。

●水素利活用プロジェクト調査事業について

質疑 今後の事業の進め方は。

答弁 現在、本市内における水素の利活用に関する受給などのデータが不足しているため、まずは調査をしっかりと実施し、その結果に基づき、地元の企業などの協力も得ながら事業を推進していきたい。

●公共建築物長寿命化推進事業について

質疑 5年度末における大規模改修の進捗率は、施設数ベースで58・8%とのことだが、進捗が遅れている要因は何か。

答弁 設計は予定数以上に進めているものの、指定管理の切替え時期や利用者の利便性を考慮して改修する施設を決めていることから、直ちに全ての施設の改修に着手できる状況にないためである。

●SNS集約システム導入事業について

質疑 災害時にAIを活用し、SNSから被害状況を収集することのことだが、誤情報を適切に排除できるのか。

答弁 本事業の実施に当たっては、AIのみで頼ることなく、収集した情報にAIがフィルターをかけた上、重ねて人間によるチェックを実施することで、誤情報を除外していくものである。

●民間活力導入基礎調査事業について

質疑 Park PFIの導入に際して、防

災的視点はあるか。

答弁 都市公園に民間活力を導入するPark PFIにおいて、公園の防災面は重視しており、仕様書や協定書に、避難場所の確保や延焼防止、災害時の対応やリスク分担を明記する予定である。これまでの例では、災害避難者への食材ストックの提供などを事業者と協議している。

●中消防署高台出張所建設事業について

質疑 高台出張所は、移転により庁舎の延床面積が増加するが、増加分の活用方法は。

答弁 移転による増加

分については、女性消防職員に対応した設備や救急活動資器材の洗浄・滅菌を行う救急消毒室の整備、仮眠室の個室化などに活用する。

●農業集落排水事業の統合について

質疑 都田及び市場の農業集落排水事業を、公共下水道事業へ統合するメリットは。

答弁 両農業集落排水事業を公共下水道事業へ統合することにより、効率的な施設運営ができることに加え、将来的な施設の更新コストの低減効果が見込まれる。

●瓦屋根の耐風診断・改修事業について

質疑 瓦屋根の耐風改修の助成に対して、木造住宅耐震補強助成事

業の同時実施を条件とした理由は。

答弁 7年度までの耐震改修促進計画において、木造住宅の倒壊を防ぎ、命を守ることを第一としている。熊本地震などにおける木造住宅の倒壊の状況を踏まえ、まずは耐震改修に注力し、改修を促進する必要があり、ことから、助成の条件としたものである。



台風による瓦屋根被害の例

厚生保健委員会

●ヤングケアラー支援推進事業について

質疑 ヤングケアラーを見つけて出すことが課題となるが、どのような考えているのか。

答弁 ヤングケアラーの現状や課題を、広く市民や教員などに啓発し、存在に気づいてもらうことが第一歩であると考えている。

●骨髄ドナー等助成事業について

質疑 減額の理由及び周知方法は。

答弁 4年度の実績を鑑みて、前年度の8人分から4人分へ減額したものである。静岡県は骨髄ドナー登録者数が47都道府県中46位であり、まずは献血併行型の骨髄バンクドナー登録会の開催を推進する。そのほか、将来を見据えて中学校・高等学校に対し、浜松医科

大学附属病院開催のドナー登録などに関する講座を周知し、啓発に努めていく。

●デジタル機器を活用した糖尿病予防事業について

質疑 事業の詳細は。

答弁 食後の血糖値が急上昇と急降下を起す「血糖値スパイク」が疑われる人に、センサー機器を2週間装着してもらい、専用のアプリで血糖値を計測する。そして、そのデータを基にした食事などについてのアラートメッセージを送ることで、生活習慣の改善を促すものである。



血糖値測定のイメージ

環境経済委員会

●天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業について

質疑 事業の今後の進め方は。

答弁 本市森林の特徴は私有林が多いことであり、クレジット化されたものが所有者個人に渡るだけでは効果が低い。このため、中間的な組織を設けるなど、森林整備や林道などの基盤整備にうまくつなげられるようなスキームを検討していく。

●フィルムコミッション推進事業について

質疑 事業の今後の展開は。

答弁 観光庁の調査では、訪日旅行を計画している外国人の1割、年間300万人を超える人がアニメや映画のゆかりの地を巡る、いわゆる聖地巡礼を目的に挙げている。本市はア

ニメツリーズム協会の訪れてみたい日本のアニメ聖地88に「エヴァンゲリオン」及び「ゆるキャン△」で聖地認定されていることから、インバウンド再開を機に、国内外から多くの来訪があることを期待している。引き続き積極的な口け支援を行うとともに、ゆかりの地周遊などの追体験を通じて、繰り返し本市を訪問してもらえ、ピーターの増加に努め、環境整備や仕掛けを考えていく。

市民文教委員会

●生理用ナプキンディスプレイ設置事業について

質疑 市の施設にとどまらず、民間施設にも展開してはどうか。

答弁 社会実装化を目指して、実証実験からスタートするもので、行政が率先する中で民間企業に自発的に参画してもらえよう環境づくりに努め、利用者のニーズや反応によって対応を検討する。

●ゼロ・スタート・トレーニングラボ事業について

当局説明 スポーツの基本的動作の習得と基礎体力の向上のため、子どもから大人まで楽しめるカリキュラムの実証実験を天竜区から進めるものである。

質疑 高齢者ふれあいサロンなどの既存事業との連携は。

答弁 既存事業についても、連携できる部分は連携し、翌年度以降に全市域への普及を図っていく。

●放課後児童会健全育成事業手数料徴収条例の制定について

当局説明 6年度から、市が開設する放課後児童会の保護者負担を統一し、同一の手数料を徴収するものである。

質疑 手数料の減免についての考えは。

答弁 就学援助受給世帯については、半額減免を想定している。



◎おけるまろ・ホビージャパン／「夢見る男子は現実主義者」製作委員会



放課後児童会の様子

代表質問

3月6日には、各会派を代表して4人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松
戸田 誠

条件が悪い農地にスマート農業の導入推進を

質問 耕作条件がよい農地では効率的なもうかる農業が実践されている一方、小規模農地や斜面地では借り手もなく維持に不安を感じる。条件が不利な農地に対しスマート農業の導入の考えはどうか。

答弁 中山間地域の小規模、不整形な農地は、集約が困難な上、従事者の減少や高齢化が顕著で、生産性の向上ともつかる農業の実現が不可欠である。そこで、春野町では自動操舵トラクターなどを導入し、2年間費用対効果の検証に取り組み、労務環

境を改善することができたことから、この成果を横展開するため、補助金による導入支援とともに情報提供や啓発活動を行ってきた。今後もハード・ソフトを組み合わせ、スマート農業を積極的に推進していく。

境を改善することができたことから、この成果を横展開するため、補助金による導入支援とともに情報提供や啓発活動を行ってきた。今後もハード・ソフトを組み合わせ、スマート農業を積極的に推進していく。

その他の質問

- ① 業務改革にはデジタル以外の検討も
- ② 歴史的風致維持向上計画の着実な推進を
- ③ 子どもの感性を育む有効な体験学習を



スマート農業の導入例(自動操舵トラクター)



市民クラブ
平間 良明

バイオマス利活用で浜松市域RE100実現を

質問 他都市でバイオマス資源を利用した発電などの事例があることから本市でもバイオマスの利活用を進めるときと考えるがどうか。

答弁 本市では、生ごみを活用し、民間事業者がメタン発酵によるガス化発電施設の運転を予定している。また、木質バイオマスについては、地元協議会が地域の木材を利用した農業ハウス運営などの事業を検討しているほか、天竜区役所や春野協働センターでは空調設備を導入済みであり、新たに、あらたまの湯に

温泉加温用ボイラーの導入を検討している。バイオマス推進は、資源循環やごみ減量、森林保全や林業の活性化にもつながるため、専門家の派遣やセミナー開催、補助金交付など、引き続き支援していく。

温泉加温用ボイラーの導入を検討している。バイオマス推進は、資源循環やごみ減量、森林保全や林業の活性化にもつながるため、専門家の派遣やセミナー開催、補助金交付など、引き続き支援していく。

その他の質問

- ① 保管文書の削減で遊休施設の有効活用を
- ② 企業版ふるさと納税PRの取組と実績は
- ③ 環境整備でバイク利用者の利便性向上を



東三河バイオマス発電所(豊橋市)



創造浜松
湖東 秀隆

放課後児童会の施設環境の改善を

質問 放課後の子どもへの安全な居場所に対する要望は数多く聞かれるところである。放課後児童会の現場では、子どもを預かる施設環境が不十分として、改善が求められているが、今後の対応はどうか。

答弁 放課後児童会は単に児童を預かるだけでなく、異なる学年の児童との交流や発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができる大切な居場所であるため、児童が安全に安心して過ごせる環境を確保することは重要であると認識している。

単に児童を預かるだけでなく、異なる学年の児童との交流や発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができる大切な居場所であるため、児童が安全に安心して過ごせる環境を確保することは重要であると認識している。

省令に定められた設備運営基準に照らし、施設の不良箇所や静養スペースなどの環境改善が必要な箇所については、施設の状況に応じた改善策を検討し、安全性や緊急性などを考慮した上で、速やかに対応していく。

その他の質問

- ① 大河ドラマへの投資に期待する効果は
- ② 台風接近時の防災関係機関との連携は
- ③ 地域特性に応じた浸水被害の対策推進を



台風第15号で法面が崩壊した高根神社(浜北区尾野)



日本共産党浜松市議団
酒井 豊実

子どもの権利を守るために条例の見直しを

質問 本市の子ども育成条例は、子どもの権利が明記されていない。名古屋市のように子どもの権利を守るための条例に見直すべきと考えるがどうか。

答弁 5年4月施行のことも基本法には子どもの権利条約の趣旨を踏まえた基本理念が規定されている中、条例に基づく子どもの権利擁護に取り組んでいる自治体もある。

本市が平成22年に制定した子ども育成条例は子どもの権利を意識したものとなっている一方、虐待やいじめな



なごや子どもの権利条例パンフレット

どが増加傾向にあり、問題が多様化、複雑化する中、子どもの権利を守る環境を整備することは重要と考えており、今後、他都市の事例を参考に、子ども育成条例の見直しも含め、子どもの権利擁護の在り方を検討していく。

その他の質問

- ① 早急な保育士配置基準の見直しを
- ② 学校給食費無償化に向けた検討を
- ③ 浜松基地周辺の水質汚染の調査と対策は

一般質問

3月7日には、5人の議員が質問を行いました



松下 正行
公明党

高齢者の带状疱疹予防のため助成制度導入を

質問 本市では、带状疱疹ワクチンは全額自己負担の任意接種であることから、自治体の助成で受けやすくした上で、定期接種化を急ぐ必要があると考えるが、助成制度の導入を検討できないか。

答弁 带状疱疹ワクチンの定期接種化については、現在、国で審議されているが、感染力が低いことや期待される効果、導入年齢に検討を要することなどから、実施のめどはついていない。一方、県内では、5年1月から藤枝市が接種費用の助成

を開始しており、5年度からは複数の市町で助成が開始される。本市においては、定期接種化に向け必要に応じ国に要望していくとともに、他都市の事例なども研究し、接種費用の助成について検討していく。

その他の質問

- ① グリーンボンド発行で多様な環境施策を
- ② Live119を導入し現場の救命率向上を
- ③ ヤード設置を許可制にし地域不安解消を



有害使用済機器が保管されているヤードの例
出典：環境省ホームページ



久米 丈二
自由民主党浜松

もうかる農業の進展状況と将来への展望は

質問 近年、農業を取り巻く環境が大変厳しい状況にある中、本市の農業政策の実績と今後の展望はどうか。

答弁 市町村別農業算出額全国7位の本市では、農業経営塾の開催やスマート農業推進協議会設立など、独自の事業で産地維持や競争力強化、担い手育成に努めてきた。また4年度は、中小事業者等GX支援事業や肥料価格高騰対策支援事業を実施し、生産意欲の向上と安定した農業経営につながる支援を行った。今後も、国内外への

販路開拓事業を強化するほか、農作業の省工ネ・省力化を促す事業の新設や先進技術を導入した出荷場等の整備支援など、経営規模の大小を問わず担い手がもうかる農業を実現できる持続可能な環境づくりを推進していく。

その他の質問

- ① 三ヶ日地区就学前施設の環境向上を
- ② 三ヶ日地区小・中学校の教育環境向上を
- ③ 学校水泳授業に民間プール施設の活用を



J Aみっかび柑橘選果場に導入されたAIセンサー

※グリーンボンド：地方自治体等が環境改善活動（グリーンプロジェクト）に要する資金を調達するために発行する債権

※GX：グリーントランスフォーメーション



須藤 京子
自由民主党浜松

教職員に子どもの多様性が理解できる研修を

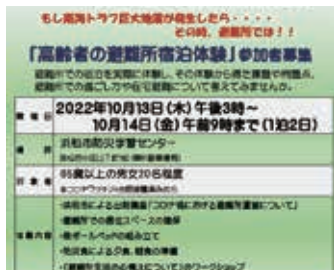
質問 社会の変化により教育に対するニーズも様々な分野に及ぶが、子どもの多様性を見据えた教職員研修の課題と展望はどうか。

答弁 本市では、教員の目指すべき姿を示した育成指標を改正し、「多様性を認め尊重する人権意識」を教育的素養として新たに加えたほか、外国人児童・生徒の教育や発達支援教育において、子どもの多様性を理解し、適切に対応する研修を実施している。今後は全ての教職員が研修を受講するように、管理職か

ら指導助言をしていく。また、教職員一人一人が、研修で学んだことを生かし、子どもたちが自他を尊重して多様性を認め、様々な人権課題を自分自身の問題と捉え、向き合う姿勢や態度を育んでいくよう努めていく。

その他の質問

- ① パートナリーシップ宣誓制度の展望は
- ② 外国人児童生徒の進路など今後の課題は
- ③ 災害時における在宅避難の考えは



避難所宿泊体験の募集案内(抜粋)



和久田 哲男
自由民主党浜松

国営農業水利施設の事業推進と市の対応は

質問 三方原、天竜川下流、浜名湖北部の3地区に整備された国営農業水利施設は、農業だけでなく生活や産業の重要なライフラインである。施設は30年以上経過し、老朽化・耐震化対策を必要としているが、現状と二期事業の進捗状況はどうか。

答弁 施設は老朽化に伴う機能低下などにより用水の安定供給に支障を来しているほか、大規模地震に対する耐震性の不足が危惧されており、国営による二期事業の工事や調査検討が進められている。

その他の質問

- ① 経済活動を進めるため企業用地の確保を
- ② 生態系保全に向け外来生物対策の徹底を
- ③ 九領川の河川改修の進捗と浸水対策は



台風第15号の浸水被害(西区大久保町)



鈴木 育男
自由民主党浜松

災害弱者に対し誰一人取り残さない体制を

質問 災害への備えのため、個別避難計画策定が努力義務となり、その推進が求められるが、進捗状況はどうか。また、計画策定には福祉事業者の関与も必要と考えるがどうか。

答弁 避難行動要支援者に対する個別避難計画の進捗状況は、3年度末で9805人の対象者に対し策定率72.1%であるが、課題として、支援者が見つからないことが挙げられた。このため、3年度から職員が自治会の会合に参加し、伴走型支援に取り組んだ結果、

策定率が向上した。また、介護支援専門員等の協力により、本人申請の例が増加するなど、連携の効果が広がっていることから、今後も災害弱者の円滑な避難体制の構築に向け、福祉事業者とさらなる連携を図っていく。

その他の質問

- ① 定年延長に当たり市職員確保の方策は
- ② 人口減少に対し学校を地域自治の要に
- ③ 産業遺産として旧住吉浄水場等の活用を



国登録有形文化財に指定された旧住吉浄水場ポンプ室

特別委員会の活動状況

4年度の活動状況を報告します

制行財政改革・大都会

◆区制度の検討

区再編の施行時期は、6年1月1日とすることを了承し、現行の7区を3区とする再編案を決定しました。また、区名については天竜区以外は現行区の名称以外で決めていくという当局の方針を尊重することとしました。そして、区名について行政区画等審議会に諮問した結果、再編後の名称は、南側から中央区・浜名区・天竜区とすると答申があったとの報告を受けました。

また、協議会の在り方については、3つの区協議会の中に7つの地域分科会を置き、さらに任意規定として地区コミュニティ協議会を設置することで、地域の意見や思いをしっかりと吸い上げる運営体制を整えていくという当局の案を了承しました。

◆大都市共通の課題

指定都市20市の市長・議長が連名で行う国への要望活動について協議するとともに、次年度行う要望の見直しについて報告を受けました。

地方創生調査特別委員会

◆総合戦略

当局から、第2期浜松市やらまいか総合戦略の3年度の評価について説明がありました。これに対し委員から、やらまいか総合戦略は本市の特色を生かした人口減少対策と位置づけられていることから、子育て支援政策だけでなく、特色ある教育をアピールして、子育て世帯に浜松を選んでもらえるよう検討すべきとの意見がありました。このほか、複数の委員から、本市の人口動態についての意見が出され、コロナ禍における人口移動や、これから迎える多死社会における自然動態を分析し、課題に対して柔軟な対応をしようという意見がありました。

また、企業版ふるさと納税の制度と本市の対応について当局から説明がありました。これに対し委員から、寄附のあった企業や事業名を市のホームページへ掲載することを継続し、企業のイメージアップにつなげてほしいとの意見がありました。

大型公共施設建設調査特別委員会

◆県が整備する新野球場

篠原地区に整備予定の県営野球場と公園に対し、県が概算事業費を算出し、環境影響予測調査を実施したとの報告を受けました。

◆四ツ池公園スポーツ施設

陸上競技場、野球場ともに建築から40年以上が経過し、多くの箇所での老朽化が進んでいることから、安全対策などの必要な修繕を実施していくことについて協議しました。

◆新病院建設

浜松医療センター新病院整備事業において、既存棟の感染症対応機能を強化するため、改修工事の設計内容見直しについて報告を受けました。



建設中の浜松医療センター新病院棟 (6年1月開院予定)

交通政策・大規模災害対策調査特別委員会

◆大規模災害対策

当局から9月2日の大雨及び台風第15号の災害対応状況について説明がありました。これに対し委員から被災者への支援について周知がなされているのか、とただしたところ、当局から、ホームページ、ツイッター、防災ホッとメールでの周知のほか、区からも被害のあった地域の自治会に電話をして、被害情報を入手するとともに、罹災証明の申請を依頼しました。また、ある程度被害規模が分かった段階で、被災者宅へもう一回確認のために訪問し、罹災証明の申請を依頼したとの答弁がありました。さらに委員から、これを機会にハザードマップの見直しをしようかとただしたところ、当局から、今回の被害の実態とハザードマップを比較し、検証に取り組みたいと考えているとの答弁がありました。このほか、災害ごみの処理についてなど、多くの質疑・意見がありました。

発行／浜松市議会〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2
編集／浜松市議会事務局
印刷／株式会社アプライズ



浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。ぜひ御覧ください。



東海道の宿場町「神奈川」の沖合の風景を現在の東京湾上から見たように描いている。新鮮な海産物を江戸に運んだ「押送船（おしょくりぶね）」と呼ばれる小型船が、荒々しい波になすすべなく翻弄されている様子が描かれている。

手前に大きく立ち上がる波を描き、奥に小さく鎮座する富士を描くことで、近と遠、動と静の対比を強調している。波そのものも、豪快な波しぶきを表す刺々しい線と、うねるように大きく弧を描く波の曲線を組み合わせることにより、力強さと躍動感を表現している。

北斎は富嶽三十六景シリーズで、舶来品で当時最新の染料であったベルリン藍（ベロ藍）を効果的に使用した。この染料を用いた浮世絵の色は「北斎ブルー」「ジャパンプルー」などと呼ばれ、ヨーロッパで起こったジャポニスムを通して画家たちに影響を与えた。色鮮やかなベロ藍の色は、北斎作品の魅力の一つである。

紙上美術館
No.181



浜松市美術館 ホームページ
<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/artmuse/>
「北斎展 一師と弟子たち」6月11日(日)まで開催



再生紙を使用しています



不要になればリサイクルへ

紙面に関するお問合せ
浜松市議会事務局 調査法制課
☎053-457-2513

- | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|--------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|--------|--------|-----|---------|-----|------------|---------------------|------------|------|
| 26日 | 23日 | 19日 | 16日 | 15日 | 9日 | 8日 | 〔6月〕 | 31日 | 26日 | 24日 | 23日 | 19日 | 17日 | 16日 | 12日 | 〔5月〕 |
| 定例会閉会 | 本会議（採決・5月議会運営委員会） | 各常任委員会 | 本会議（代表質問） | 本会議（議案上程） | 本会議（議案上程） | 議会運営委員会 | 議会運営委員会 | 各常任委員会 | 各特別委員会 | 本会議 | 議会運営委員会 | 本会議 | 議会運営委員会協議会 | 本会議（5月定例会開会・正副議長選挙） | 議会運営委員会協議会 | |

今後の議会活動の予定